

# 令和8年度当初予算要求概要について

(令和8年1月)

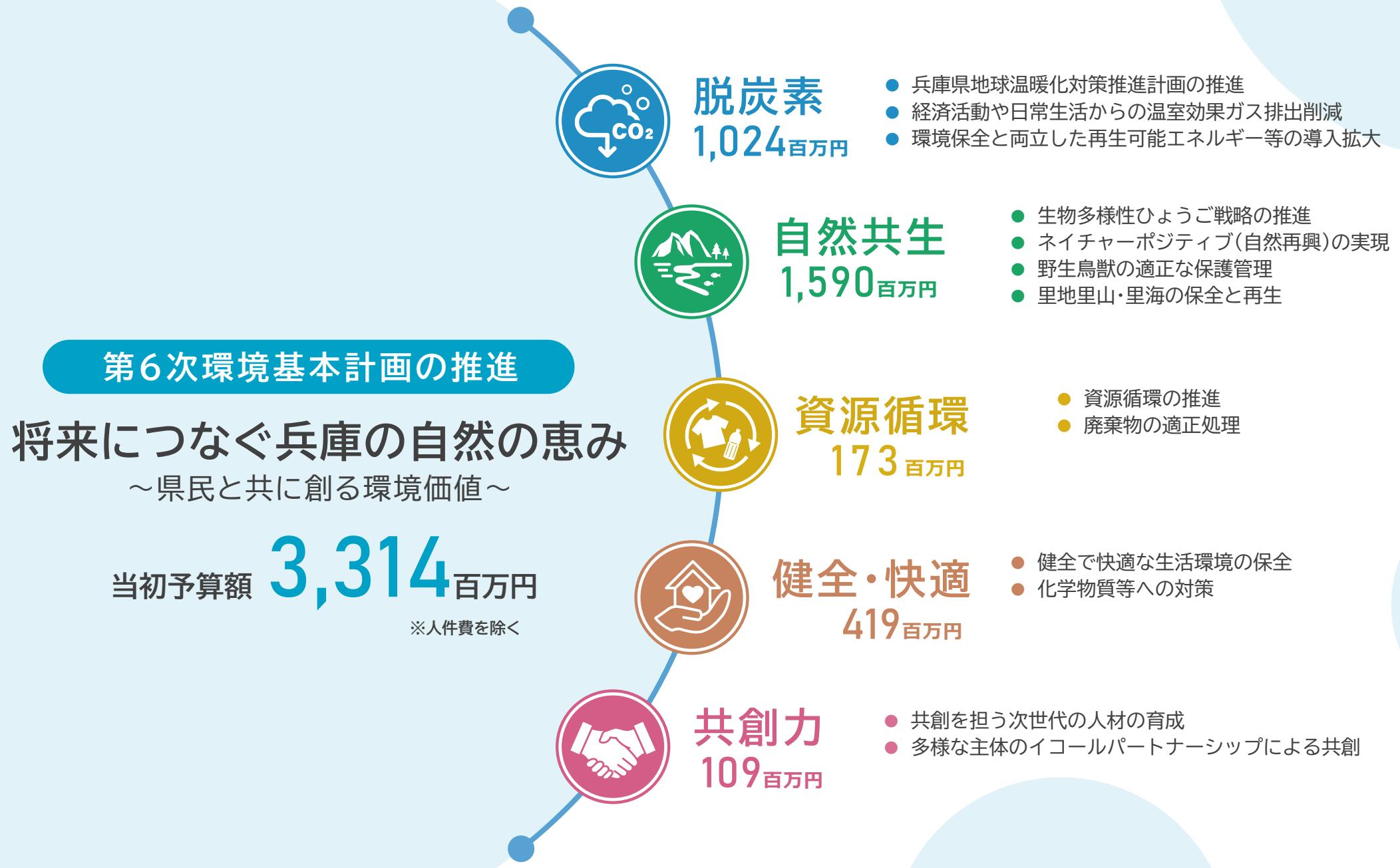
環 境 部



## Contents

■ 令和8年度 重要施策体系表 .....	2
■ 令和8年度 重要施策 .....	3
I 脱炭素 .....	3
II 自然共生 .....	7
III 資源循環 .....	13
IV 健全・快適 .....	15
V 共創力 .....	17
■ 令和8年度 予算要求額 .....	18
1 予算要求一覧表 .....	18
2 予算要求額の概要（主要事業） .....	19

## 令和8年度 重要施策体系表



## 令和8年度 重要施策

## I 脱炭素

## II 自然共生

## III 資源循環

## IV 健全・快適

## V 共創力

## I

## 脱炭素

～2050年脱炭素社会の実現～

要求額

国庫

特定財源

起債

一般財源

1,023,820

331,600

458,172

0

234,048

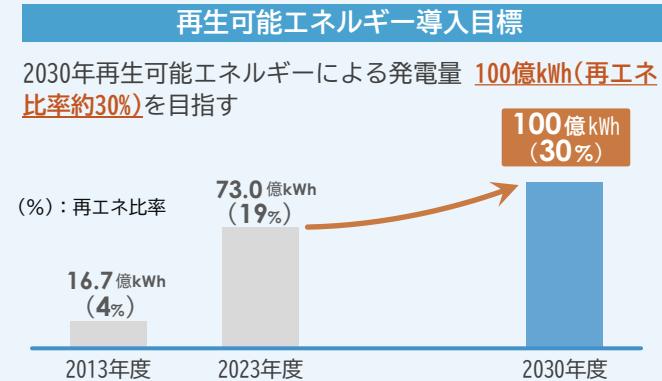
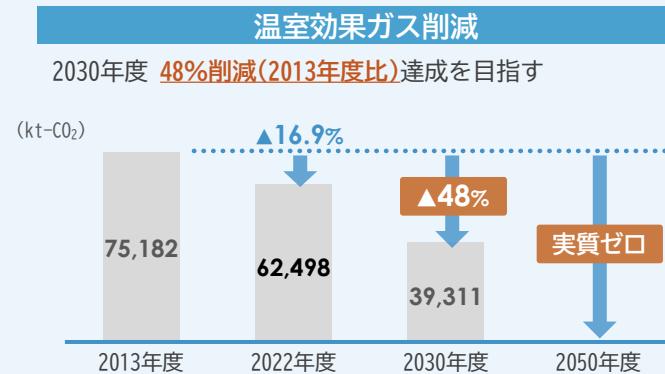
## 兵庫県地球温暖化対策推進計画の推進 (44,038千円)

## ● 兵庫県地球温暖化対策推進計画の推進

2050年カーボンニュートラル(温室効果ガス排出量実質ゼロ)の実現に向け、地球温暖化対策推進計画において、2030年度の温室効果ガス削減を2013年度比▲48%、2030年度再生可能エネルギー導入を100億kWh(再エネ比率約30%)と目標設定

目標の達成に向け、各分野から排出される温室効果ガスの削減や再生可能エネルギー導入の拡大を県民・事業者・団体等あらゆる主体が一体となって推進

## 地球温暖化対策推進計画



## ● 2050年カーボンニュートラルロードマップの作成

2050年カーボンニュートラル実現へ向け、本県が取り得る複数の道筋を検討し、必要なアクションを整理したロードマップを作成し、県民・事業者等の行動変容につなげる

## ● 気候変動への適応策の推進

温室効果ガスの排出を抑制する「削減策(緩和策)」を基本としながら、気候変動の影響による被害を回避・軽減するため、県民や事業者向けにセミナー等の開催やホームページ等を活用した気候変動情報の提供など気候変動に関する「適応策」の取組を一体的に推進

## 気候変動と削減策(緩和策)・適応策の関係

## 温室効果ガスの増加

二酸化炭素の排出など

削減策  
(緩和策)

温室効果ガスの排出を抑制

## 気候の変動

気温上昇、降雨パターンの変化など

自然や人間社会の  
あり方を調整  
適応策

## 気候変動の影響

人間社会・自然環境への影響

## 令和8年度 重要施策

I 脱炭素

II 自然共生

III 資源循環

IV 健全・快適

V 共創力

## 経済活動や日常生活からの温室効果ガス排出削減 (840,770千円)

## ● 段階に応じた中小事業者への支援

県内の温室効果ガス(GHG)排出量の約7割が産業・業務部門からの排出であり、近年、サプライチェーン全体での脱炭素を目指す動きも活発化していることから、資金や人的資源に乏しい中小事業者に対して取組段階に応じた支援を実施

## 中小事業者におけるカーボンニュートラルの取組ステップ



## カーボンニュートラルを知る

## ひょうご脱炭素経営スクール

脱炭素経営のポイントや省エネ、再エネ導入の実践的手法を学び、行動につなげる



## 温室効果ガス排出量を把握する

## GHG排出量算定サービス導入支援

サプライチェーン排出量の見える化を支援



## 温室効果ガス削減に取り組む

共同調達による太陽光発電の導入支援  
事業者の再エネ導入を推進するため、支援事業者と協定を締結し、共同調達方式での再生可能エネルギー導入を市町とともに実施



## 情報発信・情報公開

## 情報発信の支援

事業者の再エネ導入事例についてホームページでの情報発信や、環境にやさしい事業者賞での企業表彰を通じ、事業者による環境への取組をPR

## 省エネセミナー

省エネ対策を促進するため、具体的な取組や削減効果を啓発



省エネセミナーの様子



## 中小事業者への再エネ設備等の導入支援

中小事業者の自家消費型非住宅用太陽光発電設備の導入補助として、PPA・リース方式による導入やソーラーカーポート導入を支援。また、再エネ・省エネ設備設置や環境保全、公害防止を目的とした低利融資を実施



環境にやさしい事業者賞の紹介

## 相談支援

再生可能エネルギー相談支援センターによる相談体制の構築

## 条例に基づく温室効果ガス削減

事業活動に伴う温室効果ガスの排出を抑制するため、環境の保全と創造に関する条例(以下「環境保全条例」)に基づき、2030年度を目標とする新たな計画策定や計画の実践を事業者に指導するとともに、計画や措置結果の概要を公表

## 令和8年度 重要施策

I 脱炭素

II 自然共生

III 資源循環

IV 健全・快適

V 共創力

5

## ■ 脱炭素型ライフスタイルへの転換

## ● 再エネ・省エネ設備等の導入支援の強化

自家消費型太陽光発電設備及び蓄電池の導入支援や創エネ・省エネ設備の導入を促進する低利融資を実施するとともに、(公財)ひょうご環境創造協会と連携し、うちエコ診断を推進

## ● ひょうご1.5°Cライフスタイルの展開

県民が地球温暖化を自分事として捉え、日常生活の中で脱炭素に向けた取組を積極的に取り入れることで、家庭での行動変容につながるよう「ひょうご1.5°Cライフスタイル」を展開



うちエコ診断の様子

様々な角度から脱炭素型ライフスタイルへの理解を深め、行動変容を促進

## 行動変容の理解促進に向けた機会の創出

## ▶ 子ども向け出前教室・企業従業員向け出前講座の開催

- ・小中学校等に出向いての出前教室を開催
- ・企業の社内研修等を活用した出前講座を開催



## ▶ 「ひょうご1.5°Cライフスタイルコンソーシアム」参加企業のレベルアップ

脱炭素や再エネ対策はもとより、資源循環や自然共生など環境保全に向けた勉強会等を開催



ひょうご  
1.5°C  
ライフスタイル

## 身近な環境配慮型商品の普及促進

## ▶ 小売店舗や各種イベント等と連携した普及啓発

環境配慮型商品や有機農産物等の認知拡大に向けて小売店舗や各種イベント等と連携した周知活動を展開



右：JAあかし  
「花美人」  
左：JAたじま  
「コウノトリ育むお米」

## ▶ エコラベルの認知度向上に向けたイベント開催

スーパー店舗等でエコラベルの付いた商品を楽しく探索しながら、環境配慮型商品や脱炭素への関心を深めるワークショップ等を開催



CO<sub>2</sub>  
CARBON  
OFFSET



バイオマス  
No.000000

## 令和8年度 重要施策

I 脱炭素

II 自然共生

III 資源循環

IV 健全・快適

V 共創力

## 環境保全と両立した再生可能エネルギー等の導入拡大 (139,012千円)

## ■ エネルギーの地産地消の推進

## ● 地域循環共生圏の創出 ~再生可能エネルギーの導入拡大~

地域資源を活用した再エネの導入を図り、エネルギー費用を域外に流出させることなく、持続可能な形で資源が域内で循環する“エネルギーの地産地消モデル”として「地域循環共生圏」を創出

## ● 里山等バイオマス利活用プラットフォームの運営

北摂地域の取組を核とし、地域循環共生圏の構築を県内各地で進めるためプラットフォームを構築し、木質等バイオマスの利活用を推進

また、交付金を活用した木質バイオマスボイラー導入を促進



木質バイオマスボイラー(たつの市)

## ● 地域団体への再エネ導入支援の強化

地域資源を活用した再エネ導入を検討する地域団体等に対し、掘り起こしから再エネ設備導入まで段階に応じた取組等を支援



明延地区での調査の様子（養父市）

## ■ 環境に配慮した交通の実現

## ● 次世代自動車の普及 拡

次世代自動車の普及を促進するため、幅広い種類の電気自動車(EV)を対象とした事業者等への補助や公用車への導入を進めるとともに、水素社会の実現に向け、燃料電池自動車(FCV)に加え、燃料電池商用車(FCバス、FCトラック及びFCVタクシー)に対する導入補助により、水素モビリティの普及を促進



R7年度神戸市内で導入される関西初の燃料電池(FC)小型トラック

燃料電池(FC) 大型トラック

## ● 水素ステーションの導入促進

水素モビリティの普及に欠かせない水素ステーション整備に向け、地域内の課題・需要調査、候補地の検討を行うとともに、関係者への働きかけや整備費に対する補助を行い、商用車対応も含めた水素ステーションの整備を促進



県内の水素ステーション

## 令和8年度 重要施策

I 脱炭素

II 自然共生

III 資源循環

IV 健全・快適

V 共創力

## II

## 自然共生

～人と動植物が共存する豊かな自然の保全～

要求額	国庫	特定財源	起債	一般財源
1,589,507	1,044,760	204,016	0	340,731

## 生物多様性ひょうご戦略の推進（2,538千円）

国内外の社会情勢の変化や新たな環境課題に的確に対応するため「生物多様性ひょうご戦略」（R7.3月改定）に基づき、**I 豊かな自然環境の適切な保全、II 自然の恵みを活かした地域づくり、III 豊かな自然を未来へつなぐ仕組みづくり** の3つの基本戦略ごとに行行動目標を立てて各種施策を推進

## ネイチャーポジティブ（自然再興）の実現（208,212千円）

## ■ 30by30の推進や自然の恵みを活かした地域づくり

## ● ひょうごの生物多様性保全プロジェクトの推進

NPO等が実施する生物多様性保全の取組のうち、モデルとなる活動を「ひょうごの生物多様性保全プロジェクト」として選定（R7.12月末：116件）。

プロジェクト団体に対しては、以下の支援等を行っている。

- ① プロジェクト内容の幅広い情報発信を通じた県民や企業の参加促進
- ② プロジェクト団体の活動発表の場を設定し、団体相互のネットワーク化  
や個々の活動のレベルアップ
- ③ 「生物多様性ひょうご基金」による助成（R7:20団体）

## ● 貴重で豊かな生態系の保全・再生

上山高原及び周辺地域においてイヌワシなど貴重な野生生物の生息に適した自然環境づくりを地域住民や専門家と連携して進め、エコミュージアムとして魅力向上に繋げる。



豊かな生態系が息づく上山高原とイヌワシ

## ● 自然共生サイトの推進

ネイチャーポジティブの実現に向けた取組の一つとして、環境省では、企業の森や里地里山、都市の緑地など「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」を「自然共生サイト」として、認定する取組を令和5年度から開始、兵庫県内では23件が認定されている。（R7年11月現在）

## ● 自然公園施設等の老朽化対策と普及啓発

自然公園内のふれあい施設や野営場、トイレ、看板・標識等の老朽化対策、案内看板の多言語化やホームページ・SNSによる情報発信、ハイキングイベント実施など普及啓発を図る

**マナーは上山高原エコミュージアムへの第1歩**

**ゴミは持ち帰ろう！**  
Take your waste home!

特に、食べ物のゴミは野生動物のえさとなり生態系をみだす原因にもなります。

In particular, food waste can feed wildlife and destroy ecosystems.

**植物・動物はとらないで！**  
Do not take animals or plants, including edible plants!

きれいな花やいろいろな動物や昆虫がみられます。が決してとらないでください。

You will find beautiful flowers and various animals and insects, but do not disturb or remove them!



ハイキングイベント（イメージ）

## 令和8年度 重要施策

I 脱炭素

II 自然共生

III 資源循環

IV 健全・快適

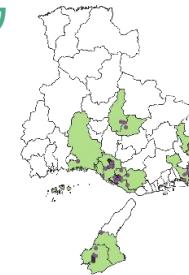
V 共創力

## ■ 特定外来生物防除対策の推進

● 兵庫県特定外来生物対策本部の設置 新

R7.8.8、特定外来生物の分布が拡大している現状を踏まえ、今後必要となる対策等について全庁横断的に検討・実施するため、新たに「兵庫県特定外来生物対策本部」を設置 ※主な対象種は、ナガエツルノゲイトウ及びクビアカツヤカミキリ

## ナガエツルノゲイトウ

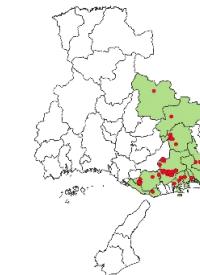


## 県下16市町で発生

※平成元年尼崎市で初めて発見(国内初)

凄まじい繁殖力・再生力で農業被害や生態系被害等のおそれ

## クビアカツヤカミキリ



## 県下9市で発生

※令和4年明石市で初めて発見

サクラ、モモ、ウメなどの樹木に発生し、枯死させるほか、倒木のおそれ

## 構成

知事を本部長、副知事を副本部長とし、関係部長、県民局・センター長等で構成

## 今後の対応方針

## 共通

## ① 効果的な防除手法の確立

防除手法の確立のための実証事業の実施

## ② 地域での防除実施を補完する各種取組の実施

県民からの通報制度の活用促進や、県民ボランティアによるモニタリングの実施、人員体制面の充実等について検討

## ③ 中長期的な対応を可能とする体制確立

特定外来生物対策については、財源や組織・人員面を含め、中長期的な取組が可能となるよう、必要となる規程整備等を実施

## 地域部会の設置

特定外来生物の対策を効果的かつ即時的に実施するため、県民局長又は県民センター長が地域部会を設置し、地域で必要となる対策や予算等について検討を行い、対策本部で決定

## ナガエツルノゲイトウ

## ① 各地域で必要となる対策の早期実施

各地域で実施する対策については、地域部会での検討結果に基づき、生態系、農林水産業等への被害が懸念される箇所等、必要となる対策を早期に実施

## クビアカツヤカミキリ

## ① 防除指針の策定

各地域のケースに応じた対応を推進するため、分布調査を実施の上、防除指針を策定

## ② 防除実施にあたっての資材、専門性及びマンパワーの確保

地域における防除対応に必要な資材の配置、職員を対象とした研修実施や専門家派遣、早期対策を実現するため必要な マンパワーを確保

## 令和8年度 重要施策

I 脱炭素

II 自然共生

III 資源循環

IV 健全・快適

V 共創力

**防除手法** 各地域で必要となる対策を早期に実施するとともに、防除手法の確立のための実証事業を実施

## &lt;ナガツルノゲイトウ&gt;

	遮光シート	热水散布	薬剤散布	除去
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>ナガツルノゲイトウが繁茂している箇所に遮光100%のシートを敷設</li> <li>太陽光を遮断し、光合成を阻害。枯死させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ナガツルノゲイトウが繁茂している箇所に高温の蒸気を噴射</li> <li>蒸気の熱により枯死させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ナガツルノゲイトウが繁茂している箇所に除草薬剤を散布</li> <li>薬剤成分により枯死させる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ナガツルノゲイトウが繁茂している箇所を土砂ごと除去</li> <li>区域外へ搬出、処分</li> </ul>
写真				

※ その他、農業用水路における防除技術、多毛作地域における除草体系等の確立のため、実証事業を実施

## &lt;クビアカツヤカミキリ&gt;

	伐採	ネット巻	薬剤散布
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>被害木を伐採、除去</li> <li>樹木内部の成虫、幼虫を捕殺</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>被害木をネットで被覆</li> <li>成虫の飛散や新たな産卵を防止</li> <li>ネットで被覆後、定期的にモニタリング、メンテナンスを実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>排ふん孔や樹幹に薬剤を注入し、樹木内の幼虫を殺虫</li> <li>樹木に薬剤を散布し、成虫の飛来を防止。</li> </ul>
写真			

※ その他、果樹園における防除体系確立のため、実証事業を実施

## 令和8年度 重要施策

I 脱炭素

II 自然共生

III 資源循環

IV 健全・快適

V 共創力

10

## ■ その他の防除対策の推進

## アルゼンチンアリ



## 県下3市で発生

繁殖力が非常に強い  
在来アリの駆逐や電気系統  
の故障原因となる

## ツヤハダゴマダラカミキリ



## 県下2市で発生

※令和3年神戸市で  
初めて発見

アキニレ、トチノキ等の樹木に  
発生し、枯死させるほか、倒  
木のおそれ

## ● アライグマ・ヌートリアの捕獲強化

市町の捕獲活動を支援するとともに、森林動物研究センターと連携した農業者や市町担当者等の捕獲技術の向上や、地域ぐるみの活動促進に向けたセミナーの開催等を通じて捕獲取組を強化

## 《市町経費に対する支援内容(交付単価)》

捕獲・搬入・殺処分支援	わな等購入支援
捕 獲：3,000円/頭	汎用わな：19,000円/基（専用わな：47,600円/基）
搬 入：1,000円/頭	処分箱：54,000円/基 電殺器：48,600円/基
殺 処 分：3,000円/頭	冷凍庫：33,600円/台

負担割合：市町特別交付税1/2、県1/4、市町1/4

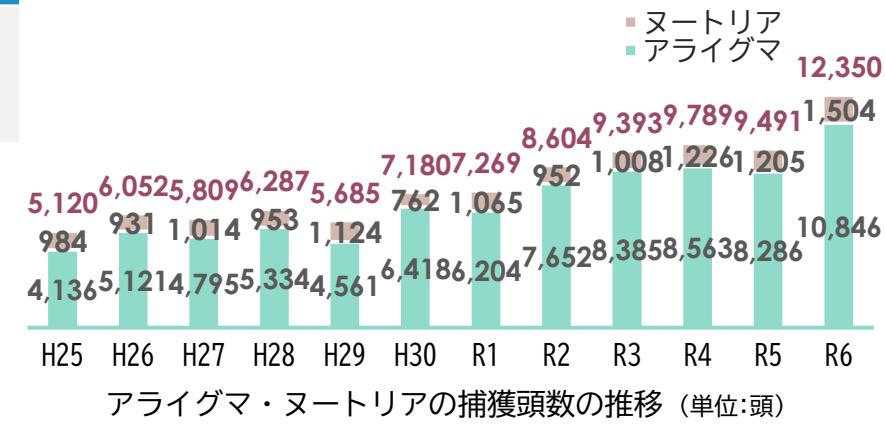


農園での現地研修



アライグマ

	ベイト剤(毒餌)設置	コンクリートの隙間をシリコン充填
概要	・ベイト剤を設置し、働きアリに巣へ持つて帰らせることで、巣ごと駆除	・コンクリートクラックなど、アリの住処となる隙間をシリコンで充填
写真		
	伐採	薬剤散布
概要	・被害木を伐採、除去 ・樹木内部の成虫、幼虫を捕殺	・樹幹に薬剤を注入し、樹木内の幼虫を殺虫
写真		



## 野生鳥獣の適正な保護管理 (1,333,716千円)

### ● 鳥獣保護管理事業計画の推進

近年、一部の野生鳥獣の生息数増加や生息範囲拡大などにより、農林水産業への被害や地域住民の精神被害等が発生しているほか、食害による森林の下層植生の消失など生物多様性への影響が生じていることから、獣種別の管理計画を策定し、市町との連携のもと、地域の実情に応じた野生動物の

- ① 個体数管理(捕獲)
- ② 被害管理(獣害防護柵の設置等)
- ③ 生息地管理(広葉樹林の整備等)

を総合的・計画的に行う野生動物の保護管理(ワイルドライフ・マネジメント)を推進

### ● シカ・イノシシ対策と集落支援の強化

捕獲報償金制度の活用などにより、シカ・イノシシの捕獲を強化するとともに、捕獲したシカを地域資源として有効に活用するため、処理加工施設等への整備支援や普及啓発イベントの開催などにより、シカ肉等の需要を拡大

また、過疎高齢化が進む集落での適切な鳥獣被害対策実施のため、専門知識を備えたアドバイザーを集落へ派遣し、ICT技術を活かしたスマート獣害対策のモデルを育成



シカ有効活用推進  
イベント「文鹿祭」

### ● ツキノワグマ対策の強化 拡

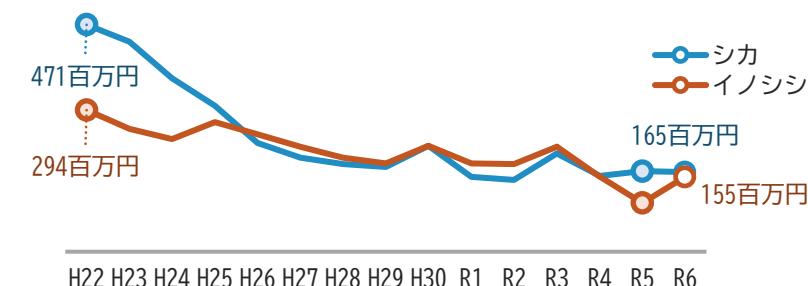
「兵庫県ツキノワグマ連絡対策会議」を開催し、関係機関が連携してクマによる人身被害等の発生防止を図るとともに、緊急銃獵を含むクマ出没対応マニュアルの作成や資材購入など、各市町におけるクマ出没防止対策を進めるための取組を支援

また、クマ管理に関する座学研修や実技研修を開催し、クマ管理を担う行政職員や市街地出没対応を担う人材を育成



誤認捕獲個体のモニタリング（養父市）

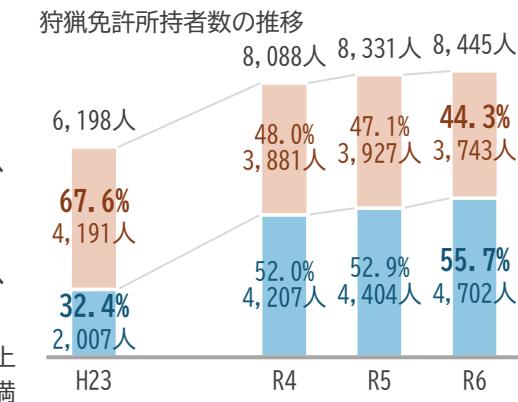
### 野生鳥獣による農林業被害額の推移



### ● 獣獵者（捕獲従事者）の確保・育成 拡

狩猟への関心を高める体験会やPRイベント等により、狩猟者の確保を図るとともに、若手狩猟者の仲間づくりや実践機会の提供により、狩猟デビューを応援

また、熟練狩猟者によるマンツーマン指導等により、有害捕獲従事者を育成



### ● 県立総合射撃場～ハンターズフィールド三木～の活用

県立総合射撃場を狩猟人材育成の拠点として活用し、初心者からジビ工活用、高度射撃捕獲者まで、段階別に研修を実施

また、獣友会支部単位での技能研修等の利用により、計画を上回る利用者数を確保



ライフル・スラッグ射撃練習

## 里地里山・里海の保全と再生 (45,041千円)

## ■ 豊かで美しいひょうごの里海づくり

## ● 兵庫県栄養塩類管理計画(R4.10策定)の推進

望ましい栄養塩類濃度となるよう計画的な栄養塩類供給に伴う水質状況の検証を行うとともに、水質目標値の達成・維持を図るため、

- ①県民の理解を深める取組の検討・実施
- ②栄養塩類増加措置実施者の追加
- ③新たな栄養塩類供給方策の調査・研究等に取り組む

また、大阪湾流域別下水道整備総合計画の改定など状況の変化を踏まえた水質シミュレーションを実施

## ● 県民参加による豊かな海づくり

これまでの活動に加え、次代を担うZ世代を対象とした海と触れ合う機会の創出や、イベント情報掲示板アプリを活用した会員の情報発信力の強化などに取り組み、「ひょうご豊かな海づくり県民会議」を母体とした公民連携による県民参加の豊かな海づくり活動を推進



## ● 里海づくり連絡会議の設置運営

本県の里海づくりの司令塔的役割を果たす連絡会議を設置し、里海づくり活動の土台となる科学的知見の集積や里海資源の観光・教育等への利活用の検討等を行い、県内の里海づくり活動を推進

## ● 里海づくり支援事業

里海づくり活動の輪を更に広げ、豊かで美しいひょうごの海の創出に繋げるため、新たに里海づくり活動に挑戦する団体や活動エリアの拡大、他団体と連携して活動する団体等を支援



里海づくり活動の例  
(干潟の創出)

## ● アマモ場ポテンシャル調査

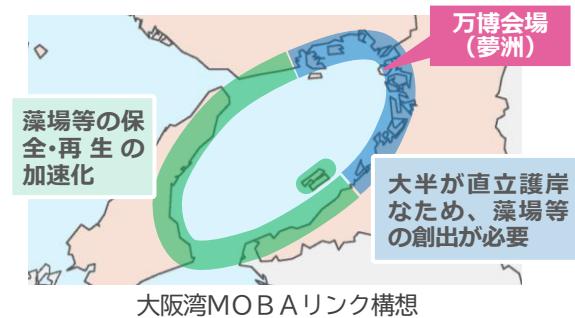
県内各地のアマモ場の適地調査を行い、アマモ場ポテンシャルマップを作成し、広く周知することにより、新たな活動団体によるアマモ場の創生・再生活動を後押し



アマモ場

## ● 大阪湾MOBAリンク構想の実現

企業や団体、行政機関等が連携して、藻場・干潟の大坂湾奥部における創出と湾南部や西部における保全・再生を図り、大阪湾沿岸をブルーカーボン生態系の回廊でつなぐ



大阪湾MOBAリンク構想

## 令和8年度 重要施策

I 脱炭素

II 自然共生

III 資源循環

IV 健全・快適

V 共創力

## III

## 資源循環

～脱炭素や自然共生につながる循環型社会の実現～

要求額

国庫

特定財源

起債

一般財源

173,207

106,213

39,920

0

27,074

## 資源循環の推進（21,993千円）

## ● 暮らしに根ざした資源循環の展開

プラスチック資源循環や廃棄物・資源循環分野におけるカーボンニュートラルを促進する観点を加えた「兵庫県資源循環推進計画」(R6.1策定)に基づき、廃棄物の発生抑制・再生利用率の向上を促進するとともに、資源循環を推進

## 暮らしに根ざした資源循環の重点取組

## プラスチック資源循環の推進

- プラスチックの「使用削減+焼却量削減」
- ひょうごプラスチック資源循環コンソーシアムの展開

## 食品ロス削減対策の推進

- ひょうごフードドライブの展開
- 食品ロス削減に向けた消費者の行動変容の促進

## サステナブルファッショントの展開

- 市町等と連携した衣服回収システムの構築や「繊維to繊維リサイクル」の促進

● ひょうごプラスチック資源循環コンソーシアムの展開 拡

3Rの取組を徹底しつつ、再生可能資源への代替(リニューアブル)の観点も加えた新たな資源循環の取組を強化するため、観光やスポーツなど異分野業種や市町、リサイクラー等と連携し、プラスチックの使用削減などの促進や、市町が回収する製品プラスチックの効率的な資源循環などプラスチック資源循環促進方策の具現化を推進

**集客イベントにおけるワンウェイ  
プラスチックの削減**  
集客イベントでリユース容器の利用を推進し、ごみの発生を抑制



**ごみ拾いアプリ(ピリカ)**  
ごみ拾いイベントや身の回りのごみ拾い時等に「兵庫県版ピリカ」活用を促進

## ● 廃食用油回収実証事業

家庭系廃食用油を対象とした効率的、効果的な回収、リサイクルモデルの構築に向けて、令和7年度は伊丹市内イオンモール2店舗において、廃食用油回収に係る実証事業を実施している。今後、廃食用油回収未実施の市町に、回収モデルを展開



## ● ひょうごフードドライブの展開

家庭で余っている食品をごみにせず、それを必要とする福祉団体等にスーパー等を通じて寄付する「フードドライブ」の継続的な実施体制を確保



県庁舎でのフードドライブ

● 使用済紙おむつリサイクルモデルの構築 新

少子高齢化により将来的に一般廃棄物に占める紙おむつの割合が高くなることから、県内事業者のリサイクル技術を生かし、使用済紙おむつの水平リサイクルスキームを構築



紙おむつに使用する吸水性ポリマー（住友精化（株））

## 廃棄物の適正処理（151,214千円）

### ■ 廃棄物の適正処理

#### ● 漂流ごみ・海底ごみ対策の推進

海岸漂着物対策推進地域計画(R2.3改定)に基づき、海岸漂着物のみならず、漂流ごみ・海底ごみの回収・処理、流域圏(陸域から海域)での対策、プラスチックごみ対策を推進し、さらに漁業者による操業中の回収、市町ごみ処理施設での受入等の処理体制構築を推進



漂着したごみや流木  
(福浦海岸・赤穂市)

#### ● 処理が困難な廃棄物への対応強化

大量廃棄が懸念される太陽光パネルの適正な処理を推進するため、(公財)ひょうご環境創造協会と連携して排出量推計やりサイクル手法の検討を進め、パネルのリユース・リサイクルの体制づくりを構築

また、PCB廃棄物保管事業者及びPCB使用製品の所有事業者に対し、確実な処理を指導するとともに、計画的かつ適正に全てのPCB廃棄物の処理を推進

### ■ 災害廃棄物処理の体制づくり

#### ● 災害廃棄物処理への対応力向上

発災時に迅速かつ円滑に災害廃棄物処理を行うため、市町職員等を対象に実践的な図上訓練や実地訓練を実施するなど支援・連携体制を強化



図上演習

### ■ 廃棄物の適正処理体制の整備

#### ● 長期広域化・集約化計画の策定

ごみ排出量の減少や廃棄物処理施設の維持管理・更新コストの増大などによる廃棄物処理の非効率化等を踏まえ、将来にわたって持続可能な適正処理を確保し、同時にカーボンニュートラルも推進するため、中長期的な視点による安定的かつ効率的な廃棄物処理体制の構築に向けた長期広域化・集約化計画の策定をめざす

ごみ処理広域化・集約化協議会を設置し、現状整理とブロック区割りを検討

- ① 現時点の広域化状況の評価
- ② 人口ごみ排出量等の将来予測
- ③ ブロック区割りの設定案
- ④ ブロックごとの廃棄物処理体制

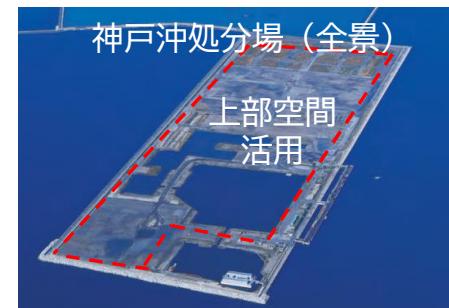
ブロック別に協議会を設置し内容を協議

長期広域化・集約化計画の策定

#### ● 廃棄物広域処理の推進

廃棄物の適正な海面埋立と港湾の秩序ある整備により、生活環境の保全と地域の均衡ある発展をめざす「大阪湾フェニックス事業」を推進

3期神戸沖（R13年度～）は、2期神戸沖（～R12年度）の西側海面を埋め立てる方針で検討を進めてきたが、工事費の高騰や圏域廃棄物量の減少等を踏まえ、2期神戸沖の上部空間を活用し、継続して20年間廃棄物を受け入れる事業手法とする



## 令和8年度 重要施策

I 脱炭素 II 自然共生 III 資源循環 IV 健全・快適 V 共創力

IV

## 健全・快適

～健全で快適な生活環境の確保～

要求額	国 庫	特定財源	起 債	一般財源
418,910	62,873	19,301	0	336,736

健全で快適な生活環境の保全 (392,742千円)

## ■ 健全で快適な生活環境の保全

## ● 水大気環境の保全

大気汚染防止法、水質汚濁防止法及び瀬戸内海環境保全特別措置法に基づき、窒素酸化物等を排出するばい煙発生施設等や污水排出施設等の届出・許可審査、立入検査による指導等を行い、規制基準の遵守状況等を監視し、水・大気環境の保全を図る

## ● 航空機騒音調査の実施

関西国際空港及び神戸空港の便数増加に伴う新飛行経路の運用に対して、淡路島上の新航路の直下を中心に航空機騒音の影響増加が予想されることから生活環境の保全に資するため、航空機騒音の動向を監視



航空機騒音調査

## ■ 美しい環境の確保

## ● 不適正処理の未然防止・拡大防止

廃棄物処理法及び産業廃棄物等の不適正な処理の防止に関する条例との一体的な指導強化により、不法投棄の未然防止・拡大防止に努めるとともに、土砂埋立等の許可にあたっては、廃棄物の混入防止や、汚染土壌の使用防止措置等の審査を行うとともに、土砂の搬入状況等を監視

## ● 不法投棄を許さない地域づくり

住民との合同監視パトロールの実施や自治会への監視カメラの貸出など、地域住民と連携した「不法投棄を許さない地域づくり」を推進



住民等による不法投棄物の撤去

## ● 不法投棄通報アプリの導入

不法投棄された廃棄物の状況を投稿できるアプリを活用し、不法投棄に関する位置情報や写真等の情報をリアルタイムで把握し、早期対応に努める



アプリ活用のイメージ

## ● 県民参加による美しい環境づくり

クリーンアップひょうごキャンペーンとして県内各地で清掃等の環境美化活動を実施するとともに、ごみの発生抑制に向けた普及啓発活動等を通じて、美しい環境づくりに向けた意識醸成を図る



西淡中学校のボランティア清掃

## 化学物質等への対策（26,168千円）

## ● アスベスト対策の推進

大気汚染防止法及び環境保全条例に基づき、アスベスト含有建築物の解体・改修工事について届出審査を行うとともに、アスベスト建材の有無に関する事前調査結果報告の内容確認を実施

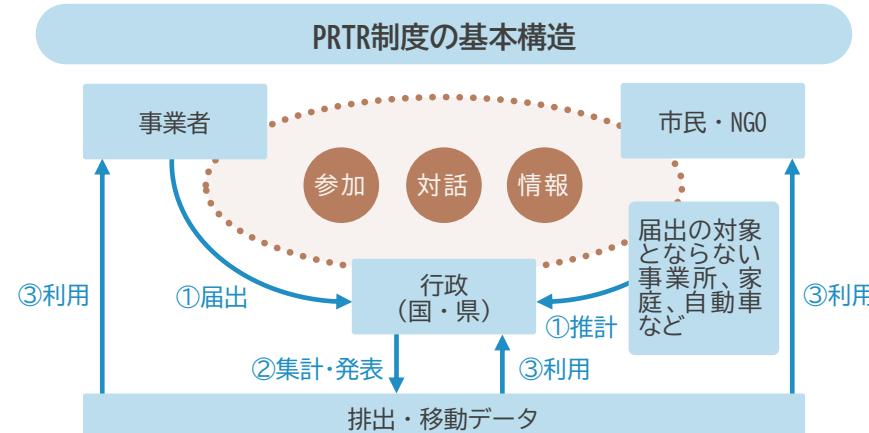
また、工事現場での作業基準等の遵守状況の確認を行うため、県環境センターと連携して測定を伴う立入検査を実施するともに、今後のアスベスト使用建築物解体件数増加に対応すべく携帯型蛍光顕微鏡を活用した効率的な立入検査方法を検討



携帯型蛍光顕微鏡によりアスベスト漏洩の有無を確認

## ● 化学物質の排出量・移動量の把握と公表

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(PRTR法)に基づき、工場等での化学物質の排出量及び移動量を把握・公表することにより、事業者自らの排出量の適切な管理や化学物質によるリスクを削減



## ● 有機フッ素化合物(PFAS)への対応

健康への影響が懸念される有機フッ素化合物(PFAS)について、県内全域の河川や地下水での常時監視を継続するとともに、PFASの環境中の挙動を解明し、低減・削減対策を検討するため調査研究を実施

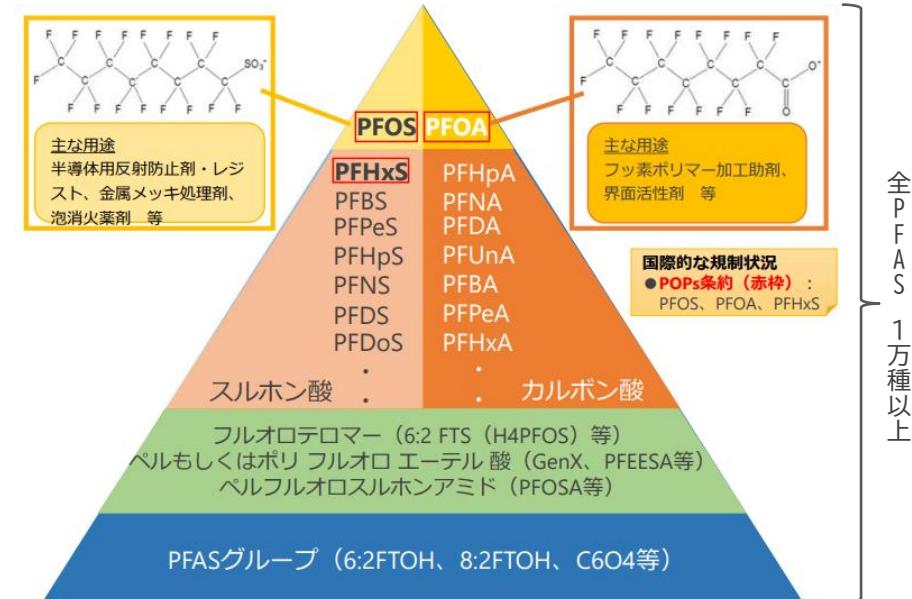
また、県民への正確で迅速な情報を発信



地下水の採水・測定

**PFAS**

(ペルフルオロアルキル化合物及びポリフルオロアルキル化合物の総称)



- ▶ POPs条約においては、PFOS、PFOA、PFHxの3つの化学物質が廃絶等の対象
- ▶ その他のPFASについては、これら3つと同様な有害性等があると認識されているわけではない

## 令和8年度 重要施策

I 脱炭素

II 自然共生

III 資源循環

IV 健全・快適

V 共創力

V

## 共創力

～多様な主体のイコールパートナーシップによる連携・協働～

要求額

国庫

特定財源

起債

一般財源

108,721

0

18,985

0

89,736

## 共創を担う次世代の人材の育成（53,360千円）

兵庫五国の大いなる自然・風土等を活かしながら、自ら「体験」「発見」し、「学び」「行動」する機会を提供し、継続的な環境学習・教育を推進

幼児期

初めての環境体験の機会提供



## ● ひょうごエコロコプロジェクト（ふるさと兵庫こども環境体験）の推進

幼児が一定の専門性を持つ環境体験を継続的に受けられる体制を構築するため、幼稚園等が実施する環境体験を支援



ひょうごエコロコプロジェクト

学齢期

発達段階に応じた体験活動を実施

- ・環境体験事業(小学校3年生)【教育委員会】
- ・自然学校推進事業(小学校5年生)【教育委員会】
- ・ひょうご環境体験館での環境学習プログラム 等



ユースecoフォーラム(R7.12)

青年期・成人期

環境問題の解決策を考え、実践できる資質を身に付ける人材を育成

## ● ひょうご高校生環境・未来リーダー育成プロジェクトの推進

(公財)ひょうご環境創造協会と連携し、高校生を対象に、環境問題を多角的に捉え、解決策を考え、実践できるリーダーを育成

## ● ひょうごユースecoフォーラムの開催

高校生や大学生等の若者世代の運営による、環境活動団体や企業等との交流を図るフォーラムを開催

## ● ひょうご環境体験館の運営

子どもから大人まで地球温暖化をはじめとする環境問題を学べる体験型の環境学習施設

※ R8-12指定管理者  
(公財)ひょうご環境創造協会

ひょうご環境体験館の外観  
(播磨科学公園都市内)

## 多様な主体のイコールパートナーシップによる共創（55,361千円）

## ● 地球と共生・環境の集いの開催

地球環境問題に対する正しい理解と、幅広い連携による環境行動を呼びかけるため、環境月間の6月に集いを開催し、企業や地域団体等を顕彰



環境保全功労者知事表彰 (R7.6)

## ● 国際環境協力の推進

HAT神戸に集積するアジア太平洋地球変動研究ネットワーク(APN)センターや(公財)地球環境戦略研究機関(IGES)関西研究センター、(公財)国際エメックスセンター等の国際研究機関と連携し、海外に向けた情報発信や高度な知見を活用した調査研究支援等、地球環境の保全に向けた国際的な取組を地域から推進

ひょうご里山・里海国際フォーラム  
(R7.9)

## 令和8年度 予算要求額

## 1 予算要求一覧表

(一般会計)

(単位：千円)

課名	令和7年度 当初予算額	令和8年度 予算要求額	財源内訳				備考
			国庫支出金	特定財源	起債	一般財源	
総務課	1,453,773 (48,316)	1,518,741 (43,971)	0	2,851	0	1,515,890 (41,120)	
環境政策課	1,186,379	1,045,402	331,600	384,349	0	329,453	
自然鳥獣共生課	1,425,588	1,544,466	1,040,792	190,918	0	312,756	
水大気課	617,673	492,744	66,841	122,356	0	303,547	
環境整備課	179,002	187,582	106,213	39,920	0	41,449	
計	4,862,415 …A	4,788,935 …B	1,545,446	740,394	0	2,503,095 (1,028,325)	B/A 98.5%

※()書きは人件費を除いた金額

## 令和8年度 予算要求額

## 2 予算要求額の概要（主要事業）

環境行政総合調整費 大気汚染対策費	環境学習推進事業費 自動車環境等対策費	温暖化対策費 水質汚濁対策費	自然環境保全対策費 環境影響評価推進費	野生動物保護管理費 廃棄物適正処理対策費
----------------------	------------------------	-------------------	------------------------	-------------------------

(一般会計)

(単位：千円)

事項名	令和7年度 当初予算額	令和8年度 予算要求額	財源内訳				概要説明
			国庫支出金	特定財源	起債	一般財源	
(環境政策課) 環境行政総合調整費	295,768	189,433	0	20,773	0	168,660	環境先導社会の実現を目指し、県自ら率先して「環境率先行動計画推進事業」等を実施する。
							1 アジア太平洋地球変動研究ネットワークセンター活動支援事業費 19,933
							2 (公財)地球環境戦略研究機関・関西研究センター運営支援事業費 24,145
							3 (公財)ひょうご環境創造協会運営費補助 33,563
							4 兵庫県環境研究センター管理運営費 101,976
							5 フードドライブ運動推進事業費 3,518
							6 環境率先行動計画推進事業費 等 6,298
(環境政策課) 環境学習推進事業費	45,096	50,509	0	16,134	0	34,375	環境や生命を大切に思う”こころ”を育み、学習から実践へとつなげていくため、ライフステージに応じた体験型環境学習・教育を推進するとともに、地域の自然の中で豊かな体験を通じて、ふるさと意識の醸成を図る
							1 ひょうご環境体験館運営事業費 34,375
							2 ふるさと兵庫こども環境体験推進事業費 15,134
							3 ひょうごユースecoフォーラム開催事業費 1,000

## 令和8年度 予算要求額

## 2 予算要求額の概要（主要事業）

環境行政総合調整費	環境学習推進事業費	温暖化対策費	自然環境保全対策費	野生動物保護管理費
大気汚染対策費	自動車環境等対策費	水質汚濁対策費	環境影響評価推進費	廃棄物適正処理対策費

(一般会計)

(単位：千円)

事項名	令和7年度 当初予算額	令和8年度 予算要求額	財源内訳				概要説明		
			国庫支出金	特定財源	起債	一般財源			
(環境政策課) 温暖化対策費	845,515	805,460	331,600	347,442	0	126,418	住宅用太陽光発電設備等の導入促進を図るため、長期かつ低利に融資する資金の貸付を実施するとともに、脱炭素社会の実現に向け、温暖化対策の施策を展開する		
							1	住宅用創エネ・省エネ設備設置特別融資事業費	320,163
							2	再生可能エネルギー相談支援センター運営事業費	3,080
							3	地域創生！再エネ発掘プロジェクト事業費	3,117
							4	うち工コ診断推進事業費	4,679
							5	PPA方式等による太陽光発電設備導入補助事業費	10,000
							6	温室効果ガス（GHG）排出量算定支援事業費	2,400
							7	自家消費型住宅用太陽光発電設備等事業費補助	183,000
							8	自家消費型非住宅用太陽光発電設備等事業費補助	40,000
							9	木質バイオマスボイラ導入事業費補助	60,000
							10	公共施設太陽光発電導入事業費	7,500
							11	里山バイオマス活用コンソーシアム構築事業費	1,110
							12	カーボンニュートラルロードマップ作成事業費	5,000
							13	地球温暖化防止対策推進事業費 等	165,411

## 令和8年度 予算要求額

## 2 予算要求額の概要（主要事業）

環境行政総合調整費	環境学習推進事業費	温暖化対策費	自然環境保全対策費	野生動物保護管理費
大気汚染対策費	自動車環境等対策費	水質汚濁対策費	環境影響評価推進費	廃棄物適正処理対策費

(一般会計)

(単位：千円)

事項名	令和7年度 当初予算額	令和8年度 予算要求額	財源内訳				概要説明		
			国庫支出金	特定財源	起債	一般財源			
(自然鳥獣共生課) 自然環境保全対策費	123,337	210,750	113,099	11,750	0	85,901	優れた自然、身近で大切な自然環境や貴重な野生生物と生態系の保全・再生を図るため、参画と協働による取組などを進めるとともに、ススキ草原等の豊かな自然を有する上山高原等の保全管理を行う		
							1	上山高原貴重種保全等事業費	2,808
							2	峰山高原滞在型中核施設整備事業費	1,691
							3	自然環境整備交付金事業費	55,693
							4	特定外来生物被害対策事業費	15,354
							5	特定外来生物総合対策事業費	9,213
							6 新	特定外来生物緊急防除費	86,917
							7	自然公園拠点施設利活用推進事業費	12,245
							8	自然公園条例施行費 等	26,829

## 令和8年度 予算要求額

## 2 予算要求額の概要（主要事業）

環境行政総合調整費	環境学習推進事業費	温暖化対策費	自然環境保全対策費	野生動物保護管理費
大気汚染対策費	自動車環境等対策費	水質汚濁対策費	環境影響評価推進費	廃棄物適正処理対策費

(一般会計)

(単位：千円)

事項名	令和7年度 当初予算額	令和8年度 予算要求額	財源内訳				概要説明	
			国庫支出金	特定財源	起債	一般財源		
(自然鳥獣共生課) 野生動物保護管理費	1,302,251	1,333,716	927,693	179,168	0	226,855	野生動物の保護管理および個体数調整を図るとともに、狩猟の適正化・安全確保、並びに鳥獣被害の防止を推進する	
							1 シカ有害捕獲促進事業費	29,625
							2 狩猟期シカ捕獲拡大事業費	184,926
							3 鳥獣被害防止総合対策事業費	602,741
							4 シカ丸ごと1頭活用大作戦事業費	144,184
							5 指定管理鳥獣捕獲等事業費	44,000
							6 ツキノワグマ管理総合対策事業費	53,899
							7 カワウ総合対策事業費	4,299
							8 県立総合射撃場運営費	46,511
							9 狩猟期イノシシ捕獲拡大事業費	33,056
							10 狩猟者掘り起こし・有害鳥獣捕獲者育成プロジェクト事業費	10,749
							11 スマート獣害対策モデル整備事業費	46,634
							12 獣害から守るくらしの安全プロジェクト事業費	6,669
							13 新 狩猟デビュー応援プロジェクト事業費	18,688
							14 鳥獣保護員等取締活動費 等	107,735
(水大気課) 大気汚染対策費	41,069	55,093	41,372	1,430	0	12,291	大気環境の保全対策、有害物質対策を実施する	
							1 有害大気汚染物質監視・規制事業費	1,592
							2 環境放射能水準調査研究費	41,372
							3 大気汚染防止法施行費 等	12,129

## 令和8年度 予算要求額

## 2 予算要求額の概要（主要事業）

環境行政総合調整費 大気汚染対策費	環境学習推進事業費 自動車環境等対策費	温暖化対策費 水質汚濁対策費	自然環境保全対策費 環境影響評価推進費	野生動物保護管理費 廃棄物適正処理対策費
----------------------	------------------------	-------------------	------------------------	-------------------------

(一般会計)

(単位：千円)

事項名	令和7年度 当初予算額	令和8年度 予算要求額	財源内訳				概要説明		
			国庫支出金	特定財源	起債	一般財源			
(水大気課) 自動車環境等対策費	321,943	165,481	8,304	106,082	0	51,095	大気中に排出される窒素酸化物及び粒子状物質の軽減を図るため、運送事業者等次世代自動車導入事業費補助等を実施するとともに、水素社会の実現に向け、水素ステーション整備費補助等を実施する		
							1	運送事業者等ゼロエミッション車導入事業費補助	25,675
							2	公用車ゼロエミッション化促進事業費	2,883
							3	次世代自動車充電インフラ維持管理事業費	4,067
							4	燃料電池バス・トラック導入事業費補助	77,456
							5	大規模水素ステーション整備事業費補助	20,000
							6	自動車NOx・PM法施行費 等	35,400
(水大気課) 水質汚濁対策費	91,958	112,946	17,165	14,844	0	80,937	水質の保全、生活環境の改善を図るため、水質環境基準の監視や土壤汚染対策等を実施する		
							1	水質調査船運航管理費	5,661
							2	広域総合水質調査費	5,604
							3	化学物質環境実態調査費	7,593
							4	水質環境基準等監視事業費	13,463
							5	PFAS実態把握推進事業費	9,173
							6	PFAS調査結果公表システム運用事業費	912
							7	栄養塩類管理計画推進事業費	14,036
							8	豊かな海づくりに向けた県民運動の展開事業費	5,000
							9	瀬戸内海環境保全県計画推進事業費 等	51,504

## 令和8年度 予算要求額

## 2 予算要求額の概要（主要事業）

環境行政総合調整費	環境学習推進事業費	温暖化対策費	自然環境保全対策費	野生動物保護管理費
大気汚染対策費	自動車環境等対策費	水質汚濁対策費	環境影響評価推進費	廃棄物適正処理対策費

(一般会計)

(単位：千円)

事項名	令和7年度 当初予算額	令和8年度 予算要求額	財源内訳				概要説明
			国庫支出金	特定財源	起債	一般財源	
(水大気課) 環境影響評価推進費	162,703	159,224	0	0	0	159,224	環境影響評価のための審査会の運営、大気汚染常時監視及び環境情報総合システムの整備、運営を行う
							1 環境影響評価推進事業費 2,211
							2 環境情報総合システム維持運営費 49,110
							3 大気汚染常時監視網維持運営費 45,953
							4 微小粒子状物質(PM2.5)対策推進事業費 17,436
							5 微小粒子状物質(PM2.5)成分分析事業費 3,906
							6 気象測定機器再検定事業費 等 40,608
(環境整備課) 廃棄物適正処理対策費	179,002	187,582	106,213	39,920	0	41,449	廃棄物処理法等に基づき、廃棄物の減量化及び適正処理等のための各種施策を実施する
							1 産業廃棄物処理業者指導費 22,773
							2 不適正処理対策充実強化費 17,591
							3 改正PCB特措法施行費 9,791
							4 大阪湾広域処理場推進事業費 2,459
							5 海岸漂着物等地域対策推進事業費 89,148
							6 海岸漂着ごみ組成等調査事業費 6,748
							7 むらしに根ざした資源循環推進事業費 15,134
							8 ひょうごプラスチック循環コンソーシアム事業費 3,247
							9 廃棄物処理の地域基盤強化事業費 6,300
							10 新 使用済紙おむつリサイクルモデル構築事業費 7,694
							11 産業廃棄物実態調査等委託費 等 6,697